

第4回教育研究推進センター講演会



分子神経科学

大阪大学 大学院医学系研究科/生命機能研究科

Department of Molecular Neuroscience, Graduate School of Medicine / Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University

脳神経疾患への挑戦



『中枢神経回路の障害と修復を制御する生体システム』

日時:平成24年11月14日(水)17時半より

会場:教育研究推進センター3階カンファレンスルーム

講師:大阪大学大学院 医学系研究科

分子神経科学 教授 山下 俊英 先生

ABSTRACT

脳血管障害、脳・脊髄の外傷、脳脊髄炎などの中枢神経疾患においては、神経系のみならず免疫系、脈管系など様々な生体システムに時空間的变化をきたし、病態が形成される。特に、免疫系と脈管系は、中枢神経回路障害と機能回復の過程に重要な役割を演じている。本講演では、生体システムのダイナミクスの観点から神経回路障害を捉え、一連の反応の機構と意義について考察したい。

Ref) Nature Medicine Oct.7, 2012; Nature. Medicine 17, 488-494, 2011; Nat Neurosci., 14(9):1125-34, . 2011 .他

尚、セミナーを撮影したビデオは学内限定で公開させて頂くことをご了承ください。

主催:旭川医科大学教育研究推進センター

連絡先 船越 洋 (内線2886)